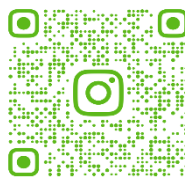


やすき通信

訪問看護ステーション ^{やすき} 穏 広報誌

2023年 Vol.1



@H.N.SO_OYASUKI



HP

基本動作～楽に立ち上がるには? ～

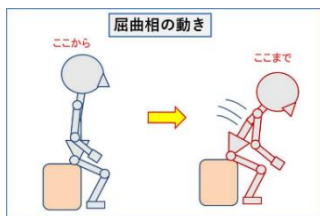


基本動作の介助方法は利用者様ごとに異なりますが、基本的な考え方などを事務所内で統一できたらと思い、資料作りに励んでおります。

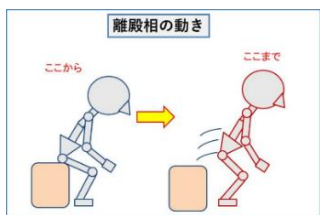
資料作りは自分の介助方法や考え方を見直す良い機会になりますね☆

今回は立ち上がりをピックアップしておりますので、参考になればと思います。

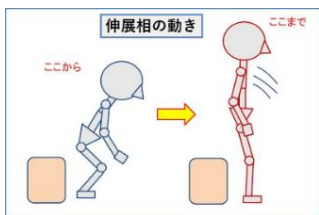
立ち上がり動作とは**屈曲相**→**離臀相**→**伸展相**に分かれている



屈曲相では『お辞儀をするように』斜め下の方向に介助することが多いが、重要なのはしっかりと足部に体重を乗せること。介助する際はしっかりお辞儀をさせるよりも、どこまでお辞儀をしたら足部に体重を乗せられるかを考えた方が良い。



屈曲相で足部に体重が乗ったタイミングで離臀を促す。感覚が難しいため介助者も練習が必要であり、タイミングが合わなければ膝折れの危険性もある。



離臀さえ可能になればあとは伸展を促すのみ。注意点として頸部の伸展を促さないと前方へ倒れ込む、伸展が強すぎると後方に倒れる場合があるため、支持基底面での伸展を促す。

立ち上がりが上手に行えるようになるとトイレや移乗の介助も行いやすくなります。利用者様・介助者ともに楽に行える介助方法を見つけ出すのが重要です。

作業療法士：船原 千寛

コトバが出ないもどかしさを抱えながらも



前頭側頭葉変性症による失語症や行動障害があるKさん。

言葉が出にくい、書字がうまくできない、以前できていた道具操作や手順が分からなくなるなどの症状があり、その影響で気持ちが塞ぎがちになっていました。

言葉の出にくさについて尋ねながら、絵カードと文字カードを用いて評価をしたところ、絵の名称は答えられませんでした。仮名や漢字の表出はスムーズにでき、文字理解は保たれていることがわかりました。そこで、絵カードを用いた訓練で名称がわからないときに文字カードを提示することを繰り返し行いました。その結果、文字カードなしでも絵カードが理解できるようになりました。絵カードの名称が表出できたときには笑顔が見られ、「楽しかった！」という声が聞かれました。

また、リハビリ以外でも「(宿題プリントを) しないといけない」と意欲を持って取り組まれていることを妹さんが伝えてくれました。

今後、言語訓練を通して、少しでも言葉のにくさを解消し、出来ることを増やし、楽しみのある生活を送れることを目標にリハビリを続けていきたいと思えます。

言語聴覚士：富永 直人



YOGA の沼



ヨガの魅力にハマリ、やり続けて10数年。きっかけは自立神経を整えるためでしたが、今は体型と筋力維持も含め、仕事終わりや休みの日にせっせと通っています。年末は太陽礼拝54回(ホントは108回)に挑戦し、へろへろになりながらもやり切りました(+o+)達成感に酔いしれながら、新しい年を迎えることができました。

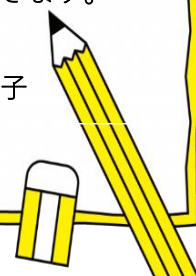


看護師：藤中 雪子

管理者こだまの一言

昨年に引き続き、コロナ禍の終息には至らず、まだ落ち着かない日々が続いております。皆様が在宅で安心して、穏やかに過ごせますように、スタッフ一同、誠心誠意努めて参ります。今年卯年です。皆様にとっても飛躍の一年でありますようお願いしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます！

管理者：児玉恵美子



医療法人優誠会 訪問看護ステーション 穩 (やすぎ)

〒811-1324 福岡市南区警弥郷1丁目14-8 大長ビル 205号

TEL: 092-589-3011 FAX: 092-589-3021